

このたびは、本製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。取り扱い説明書を最後までお読みの上、ご使用ください。また、お読みになった後もこの取り扱い説明書を大切に保管してください。

## 取り付け方法

### ①純正カップ固定パーツを使う場合

- 純正カップホルダーの対応サイズは67～82mmです。
- 純正カップ固定パーツ(以下、「固定パーツ」)は、左、真ん中、右の3カ所に取り付けることができます。(図1)
- 本体の取り付け位置によって固定パーツの方向が異なります。
- 取り付ける向きを確認してください。(図1)

### 真ん中の取り付け方法

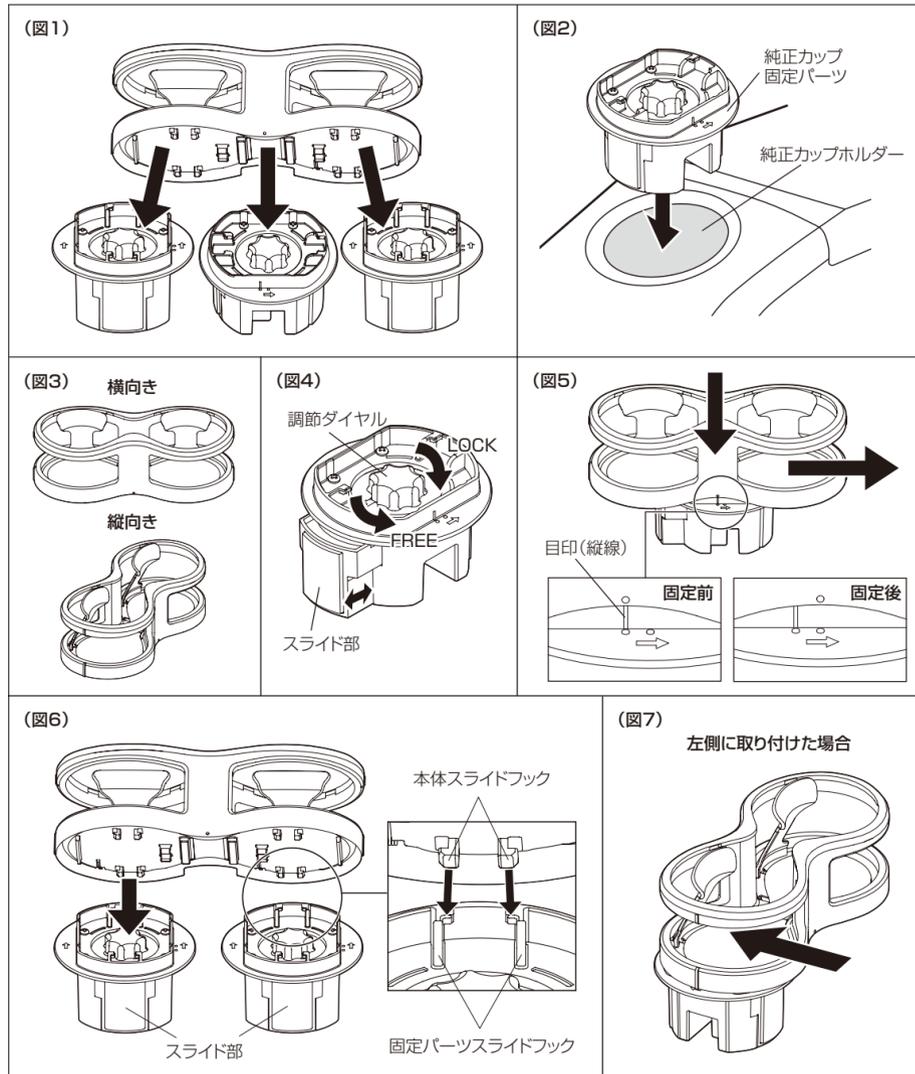
- 本体を横向きに取り付ける場合は、固定パーツのスライド部が左向きになるように純正カップホルダーに差し込んでください。(図2/図3)
- 本体を縦向きに取り付ける場合は、固定パーツのスライド部が手前または奥になるように純正カップホルダーに差し込んでください。(図2/図3)
- 固定パーツの調節ダイヤルをLOCKの方向に回して、スライド部を純正カップホルダーのサイズに合わせて調節してください。(図4)
- ※しっかり固定されているか確認してください。
- 本体を固定パーツの目印(縦線)に合わせて取り付けてください。(図5)
- 目印に合わせて本体を矢印方向にスライドさせてしっかりロックしてください。(図5)

### 左右の取り付け方法

- 本体を横向きに取り付ける場合は、固定パーツのスライド部が手前になるように純正カップホルダーに差し込んでください。(図2/図3)
- 本体を縦向きに取り付ける場合は、固定パーツのスライド部が左向きまたは右向きになるように純正カップホルダーに差し込んでください。(図2/図3)
- 固定パーツの調節ダイヤルをLOCKの方向に回して、スライド部を純正カップホルダーのサイズに合わせて調節してください。(図4)
- ※しっかり固定されているか確認してください。
- 固定パーツスライドフックに本体スライドフックを合わせて取り付けてください。(図6)
- 本体を矢印向きにスライドさせてしっかりロックしてください。(図7)

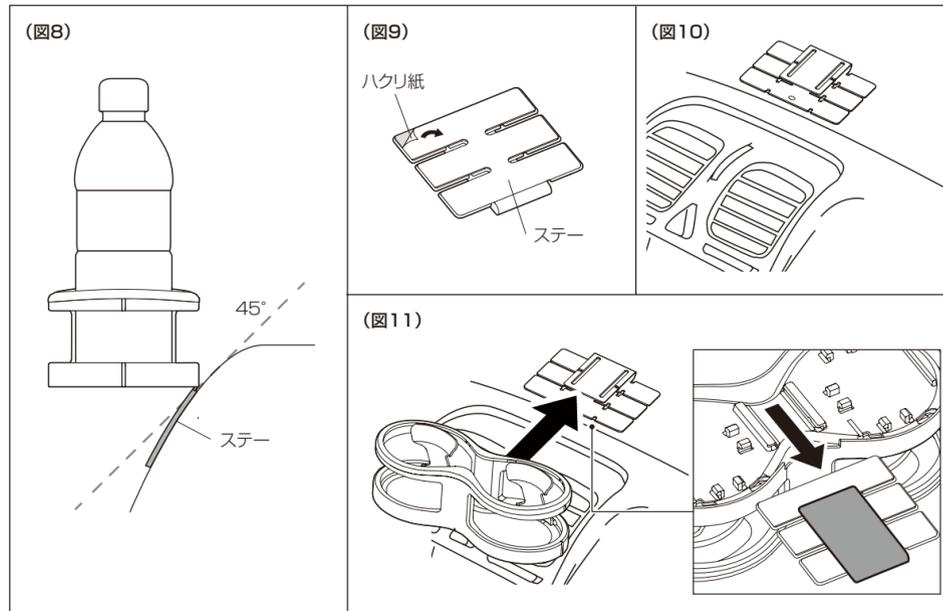
### 取り外し方

- 本体を矢印と逆方向にスライドさせてロックを解除し取り外してください。
- 固定パーツは調節ダイヤルをFREEの方向に回すと取り外せます。



### ②ステアーを使う場合

- 取り付け場所を決めてください。
- 貼り付ける場所の光沢材(特に新車)、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤を使用してよく拭き取り、十分乾かしてください。
- ※10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- ※粘着テープの貼り直しは接着力が低下します。脱落の原因になりますので絶対におやめください。
- 取り付けベースの接地部は金属ステアーになっております。接地面に合う形状に調節してください。
- 金属ステアーは傾斜のきつい(45°以上)ダッシュボードには取り付けないでください。(図8)
- ※長時間荷重をかけた場合、脱落のおそれがあります。
- 金属ステアーは粘着テープでの貼り付けが必要になるため、布生地、革(合成皮革含む)、極端に目の粗いシボ面、塗装面、曲面、凹凸が大きい車種には取り付けできません。
- ステアーのハクリ紙をはがし、ダッシュボードに貼り付けて固定してください。(図9/図10)
- ※本製品取り付け後は粘着テープの粘着力を得るため、24時間放置してからご使用ください。
- ※車種によっては取り付け部が多少変色したり、日焼けによる跡が残る場合があります。
- 貼り付けたステアーに本体を差し込んでください。(図11)



## お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

- 警告**
- 本製品の取り付け、ご使用が困難の場合、本製品を取り付けると運転やエアバッグ作動の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください脱落等により破損、事故の原因になります。
  - 本製品に無理な力を加えないでください。破損や変形等の原因になります。
  - 本製品を取り付ける際には安全の為、運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
  - 走行中の運転者によるドリンク類の出し入れは、交通事故の原因になりますのでおやめください。
  - 本製品の改造、分解、後加工は絶対にしないでください。事故や本製品の故障、破損の原因になります。

- 注意**
- 使用される前に、本体がしっかり固定されているか必ずご確認ください。
  - フタを開ける前のドリンク、また飲み残しのドリンクを炎天下の車内に放置しておくと、あふれてこぼれたりするおそれがありますのでおやめください。また本体が変形したり粘着テープが剥離する原因にもなりますのでおやめください。
  - 収納する品物によっては、お車の振動等にてキズがつくおそれがありますのでご注意ください。
  - PETボトルの形状によっては安定しない場合があります、必ず安定性を確認の上ご使用ください。
  - ドアの開閉や悪路など激しい走行等で収納してある物が脱落するおそれがありますのでご注意ください。
  - 直射日光でダッシュボード上は高温になります。火気(ライター等)の危険物や熱で変形、変色するおそれのあるものは収納しないでください。また、携帯電話は電話機の取扱説明書に従ってください。
  - 車種によっては取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り付け跡が残る場合があります。
  - 上記の警告・注意に従わない場合等、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損等につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。